

2023年度入学生 経営学部経営学科 授業科目(メジャープログラム) 3・4年生年次配当表

◎：必修 ★：専攻・コース推奨 △：選択 ー：開講しない □：その他選択 (自由科目 ○：課程必修 ◇：課程選択) ※：外国人留学生対象科目

Table containing curriculum details for 3rd and 4th years, including course titles, instructors, and credit distributions. The table is divided into sections for '共通教育科目' (Common Education Courses), '展開科目' (Expanded Courses), '専門演習' (Special Seminars), '自由科目 (教職課程)' (Free Electives (Teacher Education)), and '廃止科目' (Discontinued Courses).

各教員◎ 林、ネリワ支援センター
各教員⑩ 由水、信濃、鈴木重、河野、遠藤、岡島、青山、石山、天野、石井、川津、小林、藤原
各教員⑪ 藤根、畑川、千葉、木村、垣崎、高井、天野、藤原、三上
各教員⑫ 信濃、石山、北広島市職員

教育上の目的に応じ、学生が修得すべき知識及び能力に関する情報（第 2 項関係）

各学科等の主たる科目

【経営学部経営学科】

① 「経営学総論」

経営学の全体的な流れを中心に、本学科の各分野で必要となる基礎的な内容を理解し、伝統的な理論から現在一般化している理論等を身につける。

② 「経営組織論」

経営組織とは、何なのか。どういった構造や活動をするのか。その基礎を理解する。

③ 「簿記論」

簿記とは、企業の取引を一定のルールに従って、記録、計算および整理し、報告書を作成する一連の手続きのことであり、広く社会的にも重要な役割を果たしている。また、簿記の基本原理は、会計学の理論的な側面を理解するためにも重要な基礎となる。

本講義は、簿記の一連の手続きを理解し、財務諸表（損益計算書・貸借対照表）の作成と読解ができることを目標とする。

④ 「マーケティング論」

マーケティング論の基本を習得すると共に、実践に活用できるマーケティング的な思考・発想が身につく。

⑤ 「財務会計論」

会計は、「事業（ビジネス）の言語」と呼ばれており、あらゆる業種や立場（経営者、従業員またはフリーランス等）を問わず、その知識が必要とされている。

ところが、会計には、「利益」や「減価償却」のように、会計の世界にしか存在しない用語や概念が存在する。

そこで、本講義では、社会人として求められる財務会計の知識・理解を深め、財務諸表分析を通じて会計情報を利用できるようになることを目標とする。

⑥ 「経済学概論」

経済のニュースや記事を理解するために必要な経済学の基礎的知識を身につける。また、経済学の基本的な考え方を学ぶことで、経済事象について考察する基礎力を身につける。

【経営学部経営学科スポーツマネジメントコース】

① 「経営学総論」

経営学の全体的な流れを中心に、本学科の各分野で必要となる基礎的な内容を理解し、伝統的な理論から現在一般化している理論等を身につける。

② 「経営組織論」

経営組織とは、何なのか。どういった構造や活動をするのか。その基礎を理解する。

③ 「簿記論」

簿記とは、企業の取引を一定のルールに従って、記録、計算および整理し、報告書を作成する一連の手続きのことであり、広く社会的にも重要な役割を果たしている。また、簿記の基本原理は、会計学の理論的な側面を理解するためにも重要な基礎となる。

本講義は、簿記の一連の手続きを理解し、財務諸表（損益計算書・貸借対照表）の作成と読解ができることを目標とする。

④ 「マーケティング論」

マーケティング論の基本を習得すると共に、実践に活用できるマーケティング的な思考・発想が身につく。に関して理解を深めることができる。

⑤ 「財務会計論」

会計は、「事業（ビジネス）の言語」と呼ばれており、あらゆる業種や立場（経営者、従業員またはフリーランス等）を問わず、その知識が必要とされている。

ところが、会計には、「利益」や「減価償却」のように、会計の世界にしか存在しない用語や概念が存在する。

そこで、本講義では、社会人として求められる財務会計の知識・理解を深め、財務諸表分析を通じて会計情報を利用できるようになることを目標とする。

⑥ 「経済学概論」

経済のニュースや記事を理解するために必要な経済学の基礎的知識を身につける。また、経済学の基本的な考え方を学ぶことで、経済事象について考察する基礎力を身につける。

⑦ 「スポーツマネジメント論」

学生に経営学の手法を使って、スポーツ組織の構造と運営に関して理解する。

⑧ 「スポーツ社会学」

スポーツ全体と社会の関わりを理解し、スポーツの価値・魅力、地域社会への貢献などを考え、認識を深めることにより、スポーツ指導者として社会に貢献できる資質を身に付ける。

⑨ 「スポーツ経営管理論」

体育・スポーツを経営学の視点から捉え、指導者（リーダー）として、体育・スポーツ経営管理に必要な基本的知識や基礎理論を理解し、体育・スポーツ経営管理の考え方や各領域の具体的な動向について学ぶ。

⑩ 「スポーツ文化論」

東京オリンピック・パラリンピックなどを通して、スポーツの文化性・価値・未来への展望などへの関心を高め、スポーツを多面的な視点で捉える力を養うことにより、人間・スポーツ・社会の関連を理解し、スポーツ指導者として社会に貢献できる資質を身に付ける。

⑪ 「スポーツビジネス論」

世界のスポーツビジネスの事例を学び、北広島に建設される BP をケースとしてスポーツビジネスの発展をリアルタイムで学ぶことにより、成長産業としてのスポーツビジネスを理解する。

※本学のカリキュラム・ポリシーを基礎とし、主要科目を抽出。また、科目の概要はシラバスより一部抜粋。